



## 鹿児島市の観光農園 でイベント開催

国際文化学科 太田ゼミ

国際文化学科の太田秀春教授のゼミでは、鹿児島市との包括連携協定による鹿児島市観光農業公園グリーンファームとの共同企画「ハロウィンまつり」を10月31日企画・実施しました。この活動は地域の課題を知ってその解決策をゼミ生と市町村や企業とで考えて、解決する、あるいはその方法を試みるということを目的としています。

4月からグリーンファームの資源を生かした活性化の企画について考え始め、7月に現地調査を兼ねたグリーンファーム体験を実施し、10月にグリーンファームの職員の方との打ち合わせ・リハーサルなど綿密な準備を学生主体となって進め、本番を迎えました。

当日の天気は快晴。青空の下、いよいよハロウィンまつりの開始。開始する前から各ブースにはお客さんの列ができ始め、当日は想定をはるかに超えた、幅広い世代の方々が訪れてくださいました。太田ゼミ企画



のクイズラリーやお化け屋敷、縁日、フォトブース、ピニャータ、キャンドルやコウモリストッキの工作活動など、どのブースも大盛況！体験された方々たちからの「楽しかった！」「ありがとう！」という言葉と共におくられるとびっきりの笑顔はとても嬉しいものでした。グリーンファームでの通常のイベントの1.5倍ほどの来園者数で、企画は大成功に終わりました。

私たちはグリーンファームとの連携の中で、自分たちで企画し、それを計画通りに実行することの大変さ、楽しさ、なにより地域と繋がることの大切さを学ぶことが出来ました。また、私たち一人一人が新しい自分、スキルを発見するきっかけにもなりました。発見した自分の能力は更に伸ばし、今後の活動でも生かしていきたいと思います。

(国際文化学科2年：河崎咲也香)



## エッセイコンテスト (鹿児島日英協会主催・日本語の部) で最優秀賞受賞

鹿児島日英協会が主催した第5回エッセイコンテスト(日本語の部)で、本学国際文化研究科博士前期課程(修士課程)2年の上釜千佳さん『言葉ではなく「心」』が最優秀賞を受賞しました。また、国際文化学科3年の小川敦也さんの「ファンタジーを通して見たイギリス」が、奨励賞を受賞しました。今回、日本語の部は

最優秀賞1名、優秀賞1名、奨励賞3名が受賞しました。副会長の古木圭介氏がそれぞれの受賞作品について丁寧に講評をしてくださいました。島津公葆会長から表彰状と記念品を受け取った後、二人は受賞スピーチをしました。感謝の言葉と共に、受賞の喜びとエッセイに綴った思いを熱く語る二人のスピーチはとても心に残る内容でした。



## 市長と語る会に参加

本学のまちおこしサークル「おこしんちゅ愛好会」の部員3名が、10月21日に和田小学校で行われた鹿児島市の下鶴隆央市長と語る会に参加しました。今回参加した経営学科4年の柱凜太郎さんがその模様を報告します。

### 市長と語ってきました！

今回、「市長と語る会」というイベントに参加させて頂きました。市長はお堅い人というイメージを持っていたのですが、下鶴市長は私の想像していた市長像とは違い、鹿児島市を本当に楽しい街にしたい方だなという印象を持ちました。

語る会は私たちを含め6団体と市長が向かい合って質疑応答をする形式でした。1時間という短い時間だったので質問は1団体2つほど。私たちは「どうして市電では全国共通のICカードが使えないのか」「市長は若者が住みたい街を目指すと言っているが具体的に何をしているのか」という質問をしました。「ICカードの初期費用には多額の資金が必要で、そこから定期的に手数料がかかるため、ただでさえ赤字経営の市電に導入するのは難しい」とのこと。残念だなと思いつつも、こ



れからも地道に170円の運賃を財布からかき集める決意をした私でした。2つ目の質問に関しては「まず鹿児島

市に稼げる仕事を作る。世界と戦えるIT企業を誘致することで鹿児島の若者が県内就職をする、県外からも若者が働きに来る、そういう街にしたい」とおっしゃっていました。それはめちゃくちゃいい。市長はIT企業出身ということもあるのでその言葉にはとてつもない重みを感じました。一旦は東京で就職した人も、そろそろ地元に戻りたいと思った時、鹿児島に自分を活かせる企業があると帰りやすいですね！

今回の市長と語る会は、最初こそ「ゼミの先生が紹介してくれたから行ってみるかー」くらいの気持ちで参加しましたが、終わったあとは若者が増えた活気のある鹿児島を想像してワクワクしていました。これからの市政が気になって仕方ないです。またこういう機会があれば私のような政治に疎い学生にこそ参加して欲しい、そう思った会でした。

経営学科4年 柱凜太郎



## 精神保健福祉援助実習報告会・事後協議会を開催

令和3年11月13日、4号館411教室にて社会福祉学科の精神保健福祉士養成課程により、この夏に行われた実習の報告会ならびに事後協議会を開催しました。

今夏、コロナ禍の状況にもかかわらず、多くの精神科病院、障害福祉サービス事業所、保健所や精神保健福祉センターに実習を受け入れていただきました。臨床での実践的な学びを通じて、学生たちも精神保健福



祉士としてのスタートラインに立つ準備が整ったように感じています。

今回の報告

会では、実習を行った学生たちが実習体験や事後指導を通じて深めた考察をプレゼンテーション。それに対して、ご出席いただいた実習指導者からコメントがなされるなど、有意義な「やりとり」が行われました。

報告会終了後は、今年度の振り返りと次年度に向けた協議会を実施しました。

ご指導いただきました、実習指導者の皆様に心より感謝申し上げます。

